

「こしゃると 健康長寿 あきた」

男性の脳心血管イベント（脳卒中、心疾患など）予防のために、高血圧のリスクを改善する
～平成27年度から平成29年度の、男性の血圧リスク保有率の上昇を3%未満に抑制する～

平成24年度生活習慣病予防健診結果から…

- ・男性の代謝リスク(糖尿病リスク)保有率 全国ワースト1位
- ・男性の血圧リスク保有率 全国ワースト3位
- ・血圧リスク保有者数(28,646人)は、代謝リスク保有者数(10,755人)の2倍以上の人数(男女計)
- ・**運輸業**の各種指標が他業種に比べ悪い
- ・35歳～39歳の男性で、血圧リスク保有者のうち、**医療機関の未受診者数が74%**を占めている
- ・**喫煙者の割合**が高い 男性全国ワースト6位 女性全国ワースト24位

平成24年度医療費データから…

- ・一人あたり入院外医療費(調剤含む) 全国ワースト2位
- ・**高血圧にかかる一人あたり入院外医療費 全国ワースト4位**

平成24年度国民健康・栄養調査(厚労省調べ)から…

- ・**塩分摂取量が多い** 男性全国ワースト4位 女性全国ワースト6位
- ・運動(歩数)不足 男性全国ワースト4位 女性全国ワースト1位



秋田県は脳卒中・心疾患の死亡率が高く、高血圧は発症リスクの一つである



男性の血圧リスク保有者、若年層の未受診者、運輸業界に対する対策が必要

－ 具体目標 －

目標1

血圧リスク保有者で医療機関を受診していない方や、特定保健指導対象外の加入者が、高血圧改善・予防に努めるようになる

- 特定保健指導の対象ではないものの、血圧リスクがある方に対して、保健指導、受診勧奨などを実施し、生活改善に向けた意識付けをする
- 35歳～39歳の血圧リスク保有者への保健指導、受診勧奨を実施し、特定保健指導対象者への移行を食い止める

目標2

血圧リスクの高い運輸業界が対策を講じることで、従業員も高血圧改善・予防に取り組むようになる

- 運輸業界団体組織に、加入団体の業態別リスク保有割合等の資料を示し、健康経営や今後の取り組みについて提案する
- 事業主に対して事業所健康診断書を示すなどして、職場全体の健康度を認識していただき、従業員の生活改善と健康経営について提案する
- 35歳から、個別あるいは集団による保健指導を実施し、幅広い層に生活習慣改善について啓発する

目標3

血圧リスク改善・予防に向け、県民の理解を深める

- 県・自治体・医師会・歯科医師会・薬剤師会などと連携したイベントでの健康ブース出展や、講演会の開催を通じて、血圧リスクの危険性とリスクの改善について啓発する
- 薬局を拠点として、高血圧改善予防の知識を啓発する
- 啓発グッズ(減塩バッジ、ステッカー、スプレー醤油差し)の活用

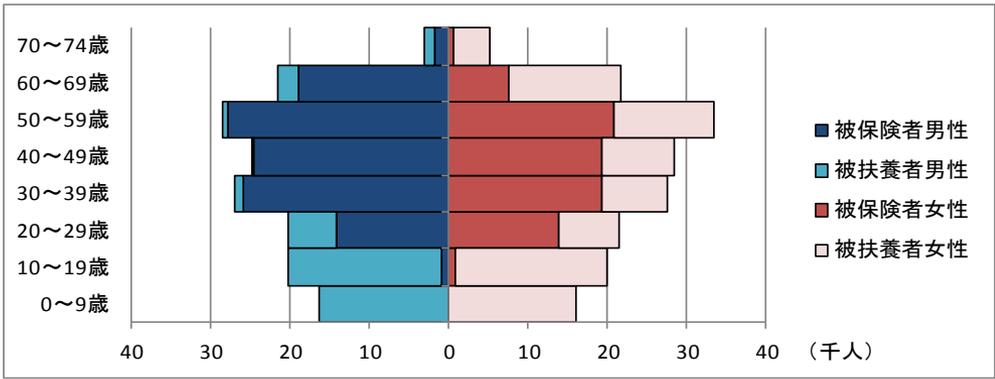
全国健康保険協会秋田支部 データヘルス計画策定にあたって

(1) 秋田支部の基本情報

① 加入者数 335,470人 (平成25年度平均)

被保険者数 196,366人
被扶養者数 139,105人

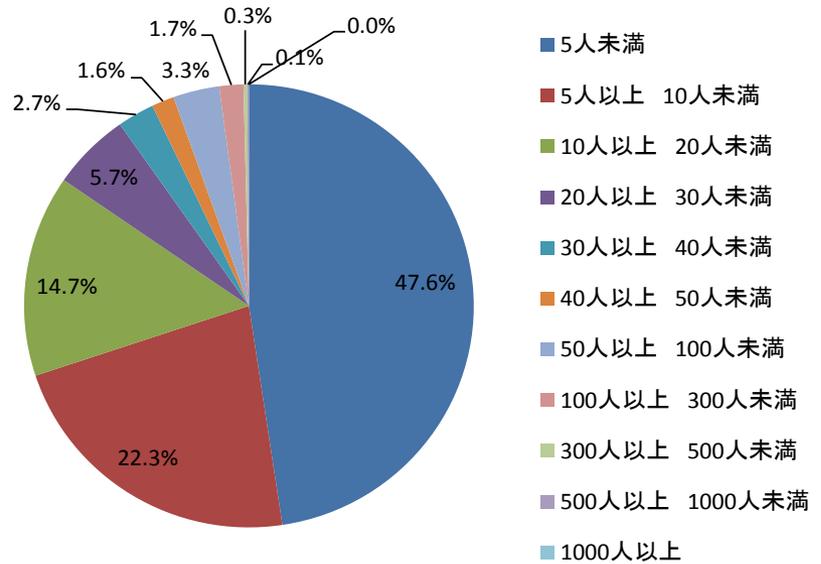
	男性	女性	合計
被保険者数	114,370	81,996	196,366
被扶養者数	47,781	91,323	139,104
合計	162,151	173,319	335,470



② 適用事業所数 12,965社 (被保険者数0人の事業所を除く)(平成25年度末)

被保険者規模別事業所数

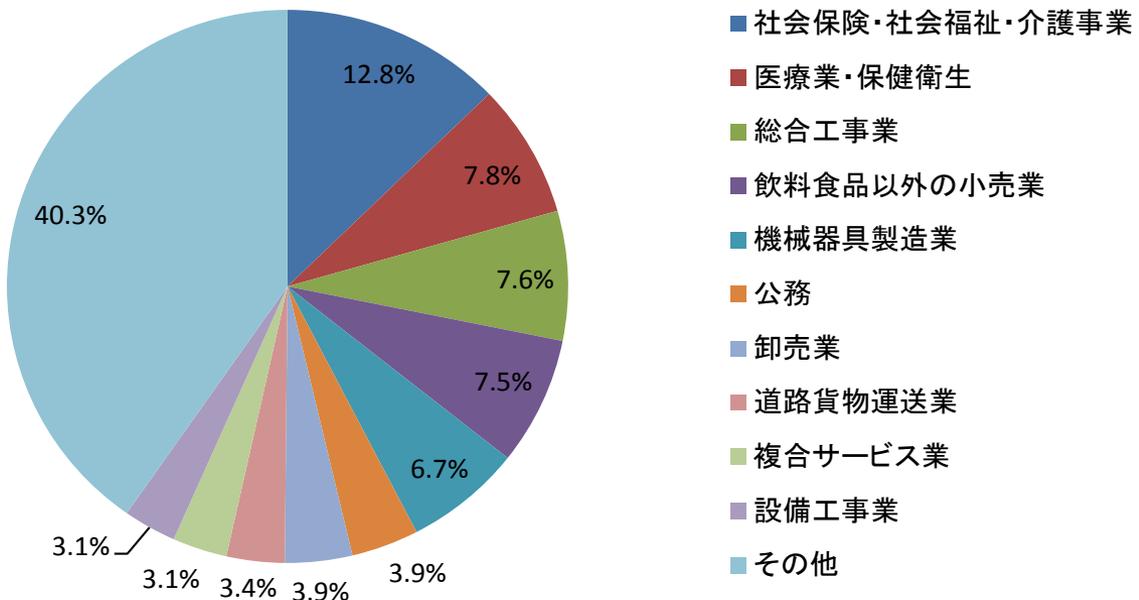
被保険者数	規模別	事業所数
	5人未満	6,174
5人以上	10人未満	2,888
10人以上	20人未満	1,908
20人以上	30人未満	734
30人以上	40人未満	345
40人以上	50人未満	210
50人以上	100人未満	431
100人以上	300人未満	225
300人以上	500人未満	34
500人以上	1000人未満	14
1000人以上		2



(1) 秋田支部の基本情報

③ 業態別被保険者数 192,434人 (平成25年度末)

業態名称	社会保険・社会福祉・介護事業	医療業・保健衛生	総合工事業	飲料食品以外の小売業	機械器具製造業	公務	卸売業	道路貨物運送業	複合サービス業	設備工事業	その他
被保険者数	24,539	15,087	14,572	14,398	12,985	7,476	7,453	6,447	6,056	5,891	77,530
割合	12.8%	7.8%	7.6%	7.5%	6.7%	3.9%	3.9%	3.4%	3.1%	3.1%	40.3%



(2) 健診・医療費データの分析結果

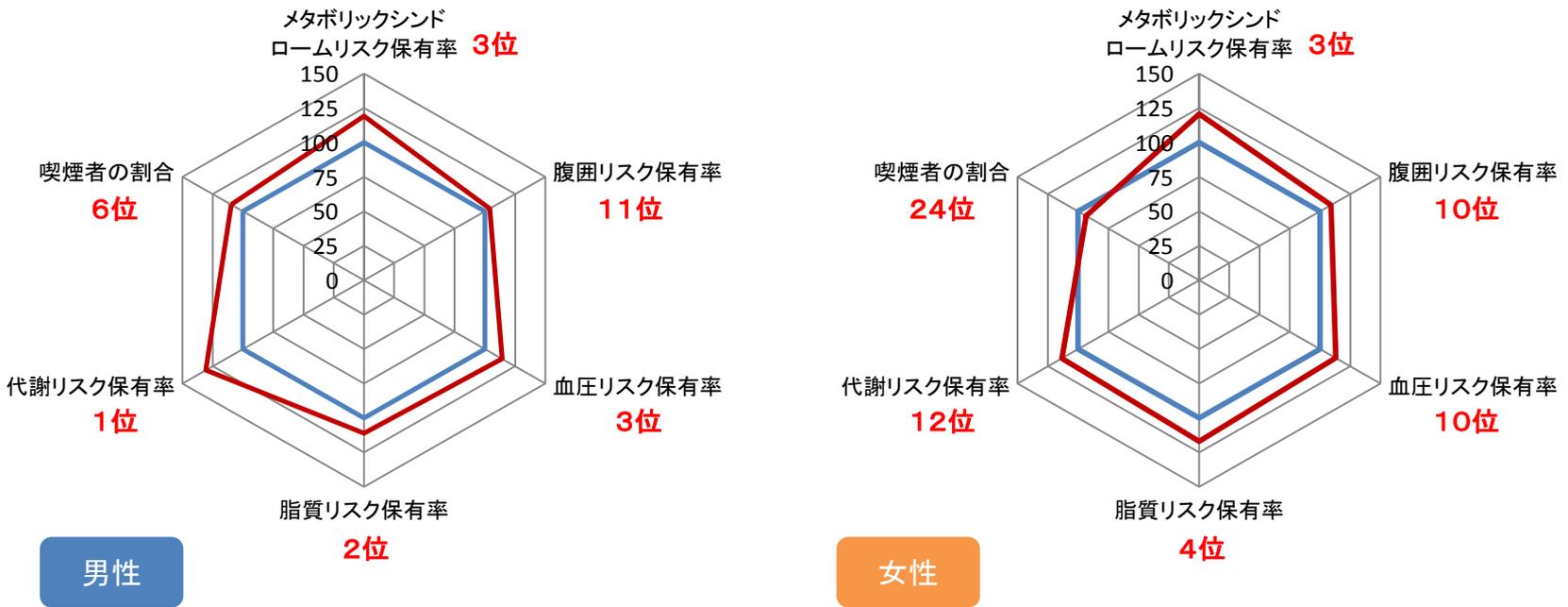
① 健診結果データの分析

秋田支部は、図①のとおり全国のデータと比較して、各種リスクの保有割合が高い中、男性の血圧リスク保有者割合が高く人数も多いことがわかりました(図②)。さらに、平成23年度から平成25年度まで連続で健診を受診した男性の経過を見ると、血圧リスク保有者が3.9%増加していることが判明しました(図③)。

また、男性の血圧リスク保有者のうち、特に若年層において未治療者が多いことが判明しました(図④)。

業態別で比較すると、図⑤のとおり運輸業で各種リスクの保有割合が高いことが明らかになりました。

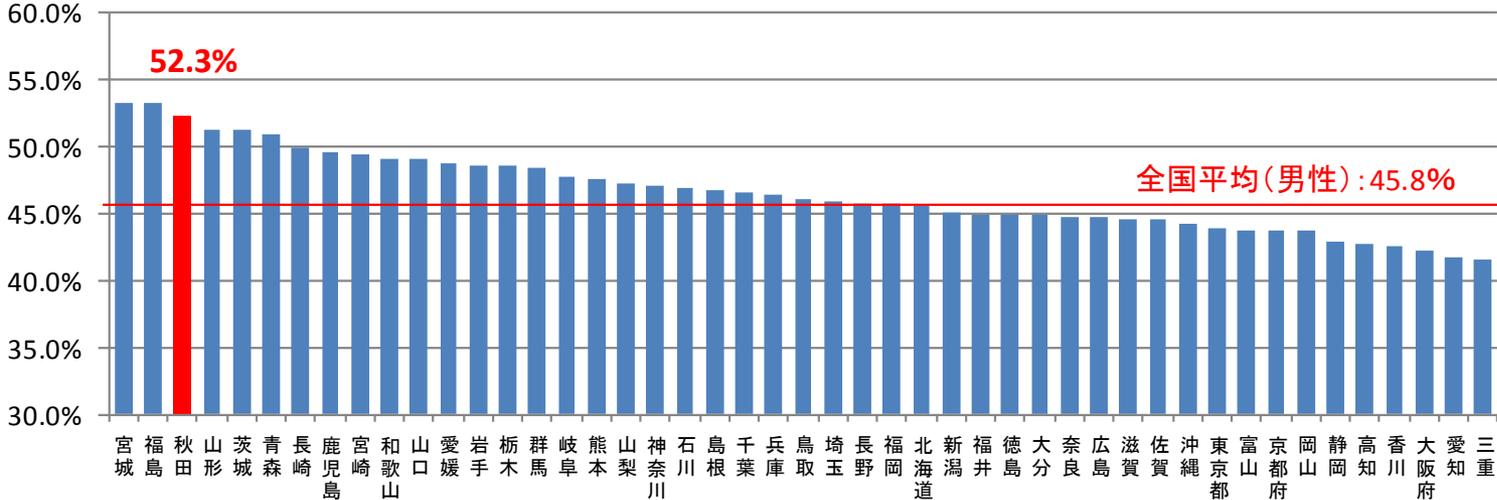
図① 秋田支部の健診結果の状況



資料:平成24年度生活習慣病予防健診データ

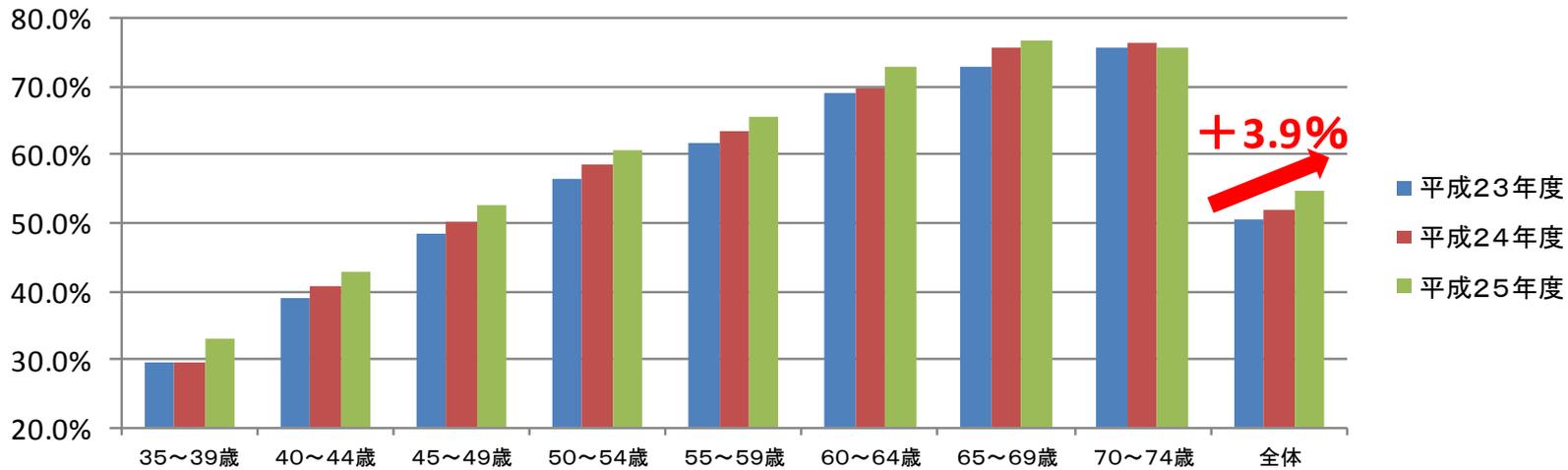
(2) 健診・医療費データの分析結果

図② 平成24年度 協会けんぽ 男性血圧リスク保有率



資料：平成24年度生活習慣病予防健診データ

図③ 3年連続健診受診者の血圧リスク保有割合の推移(男性)

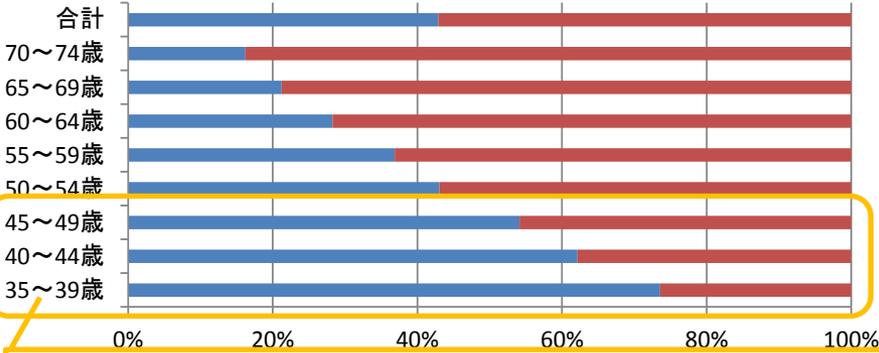


資料：平成24年度生活習慣病予防健診データ

(2) 健診・医療費データの分析結果

図④ 協会けんぽ秋田支部男性 血圧リスク保有者に占める未受診者率

■ 未受診者 ■ 受診者



49歳以下の血圧リスク保有者(男性)のうち、5割以上が医療機関を未受診

	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	合計
健診受診者数(男性)	4,761	5,149	5,043	6,079	6,180	4,812	1,594	534	34,152
うち血圧リスク保有者数	1,374	2,033	2,429	3,542	3,957	3,358	1,168	401	18,262
うち未受診者数	1,011	1,263	1,314	1,524	1,459	949	248	65	7,833
未受診者	74%	62%	54%	43%	37%	28%	21%	16%	43%

※平成24年度生活習慣病予防健診、特定健診受診者のうち、平成25年9月までのレセプトを生活習慣病にかかる傷病の有無で抽出

資料：平成24年度生活習慣病予防健診、特定健診データ
平成25年度レセプトデータ

図⑤ 協会けんぽ秋田支部 生活習慣病予防健診結果 業態別リスク保有割合

項目	1位	2位	3位	4位	5位
腹囲リスク	運輸業 (50.5%)	総合工事業 (45.7%)	電気・ガス・熱供給・水道業 (44.2%)	情報通信業 (43.2%)	専門・技術サービス (41.7%)
血圧リスク	鉱業、採石業、砂利採取業 (63.8%)	運輸業 (59.1%)	総合工事業 (54.5%)	木製品・家具等製造業 (54.0%)	職別工事業 (53.3%)
代謝リスク(血糖値)	鉱業、採石業、砂利採取業 (28.1%)	廃棄物処理業 (25.8%)	運輸業 (24.2%)	総合工事業 (24.1%)	職別工事業 (23.1%)
脂質リスク	情報通信業 (41.3%)	運輸業 (40.8%)	無店舗小売業 (40.5%)	鉱業、採石業、砂利採取業 (39.4%)	廃棄物処理業 (39.2%)
メタボリスク	運輸業 (26.5%)	廃棄物処理業 (23.6%)	紙製品製造業 (22.6%)	鉱業、採石業、砂利採取業 (22.5%)	総合工事業 (21.7%)
メタボリスク予備群	運輸業 (17.5%)	総合工事業 (17.4%)	電気・ガス・熱供給・水道業 (17.0%)	無店舗小売業 (16.2%)	設備工事業 (15.2%)
BMIリスク(肥満度)	運輸業 (36.6%)	総合工事業 (36.0%)	複合サービス業 (33.7%)	電気・ガス・熱供給・水道業 (33.2%)	設備工事業 (33.0%)
中性脂肪リスク	情報通信業 (33.7%)	無店舗小売業 (32.4%)	運輸業 (31.9%)	鉱業、採石業、砂利採取業 (31.9%)	金融・保険業 (29.5%)
HDLコレステロールリスク	情報通信業 (10.0%)	鉱業、採石業、砂利採取業 (9.4%)	印刷・同関連業 (9.1%)	運輸業 (9.0%)	廃棄物処理業 (8.4%)
喫煙者の割合	廃棄物処理業 (47.5%)	運輸業 (47.1%)	鉱業、採石業、砂利採取業 (46.9%)	総合工事業 (46.9%)	職別工事業 (46.6%)

- ◆項目ごとに設定された基準値を超えると「リスク有」と判定されます。
- ◆業種については、日本年金機構に登録されている業種および日本標準産業分類を参考にしています。
- ◆業種ごとに健診受診者数は異なります。

資料：平成24年度生活習慣病予防健診データ

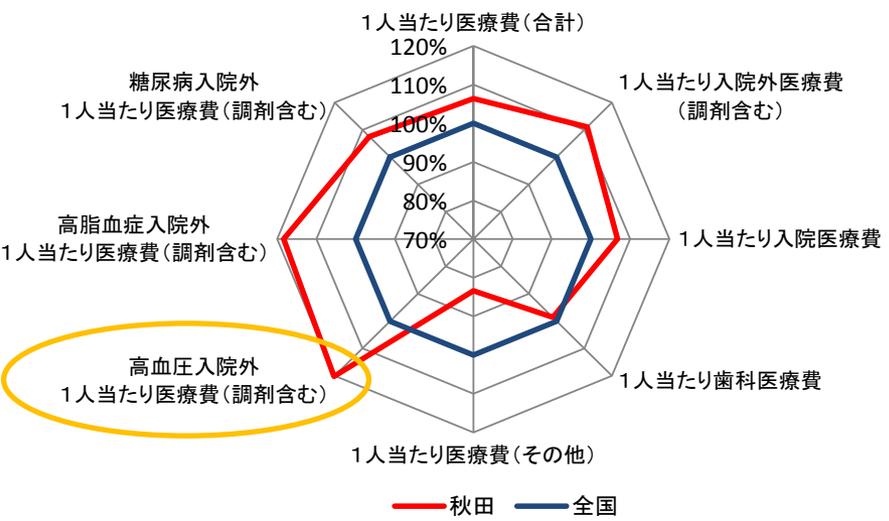
(2) 健診・医療費データの分析結果

② 医療費データの分析

秋田支部は一人当たり医療費が全国と比較して高く、一人当たり入院外医療費(調剤含む)は全国2位、一人当たり入院医療費は全国12位と上位であることがわかりました。

一人当たり入院外医療費(調剤含む)の内訳として、特に高血圧にかかる医療費が全国4位であり、全国平均と比較して1.2倍と高いことが明らかになりました。

図⑥ 平成24年度 協会けんぽ秋田支部 1人当たり医療費の全国平均との比較



	秋田	全国	全国順位	
1人当たり医療費(合計)	171,758	161,306	6	
1人当たり入院外医療費(調剤含む)	100,018	93,702	2	
	高血圧	10,964	9,123	4
	高脂血症	4,631	3,912	5
	糖尿病	5,818	5,411	11
	その他	78,606	75,257	
1人当たり入院医療費	50,196	45,204	12	
1人当たり歯科医療費	17,363	17,602	17	
1人当たり医療費(その他)	4,001	4,798	32	

資料:平成24年度都道府県支部別医療費データ

(3) 保健事業の実施・検証

秋田支部は、「男性の脳心血管イベント(脳卒中、心疾患など)予防のために、高血圧のリスクを改善する」という目標達成のため、健診データ・医療費データを活用しながら、PDCAサイクル(事業を継続的に改善するため、Plan(計画)－Do(実施)－Check(評価)－Act(改善)の段階を繰り返すこと)にそった事業運営を行ってまいります。

